

発刊にあたって



平成20年は、アメリカのサブプライムローン問題に端を発する金融危機の影響が、急速に広がり、世界経済に甚大な影響を及ぼしました。この、100年に1度とまで言われる経済危機は、日本の経済にも深刻な影響を与え、区内の中小企業は、売上げがさらに減少して一段と厳しい事態に直面しています。まさに、地域経済の先行きは不透明な状況にあります。

しかし、こうした中においても、「わがまち台東区」の将来の姿である「にぎわい いきいき したまち台東」の実現を確固たるものとしていかなければなりません。

本区では新たな行政計画の初年度を迎え、石浜橋場こども園の開設をはじめ、「たいとうすくすく手形」の発行など、子育て支援の推進を図りました。また、第1回目となる「したまちコメディ映画祭in台東」や国立西洋美術館の世界遺産登録推進など、本区の魅力を国内外へ発信するための取り組みを進めました。さらに、平成21年にいよいよ開業を迎える上野中央通り地下駐車場、区立台東病院等の整備など、各分野における施策・事業を積極的かつ着実に行ってきました。さらには、緊急経済対策も実施したところです。

本区を取り巻く現在の厳しい経済状況を考えると、今後も、さらに創意工夫を重ねて効果的・効率的な施策・事業を展開していく必要があります。そのためには、本区の抱える課題や現在の状況について、今まで以上に区民の皆様と情報の共有を進め、強固なパートナーシップに基づいて取り組んでいくことが大切です。

区政白書は、本区の取り組みの一部をわかりやすくお伝えし、区民の皆様との情報共有を進めるために、平成15年から作成していますが、今回は、さらにわかりやすくなるよう、事業の結果や進み具合をお示しするなど、内容を見直しました。

是非ご一読いただき、ご意見・ご感想などをお寄せください。

よし ずみ ひろし
台東区長 吉住 弘